

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 16	
企画名	若手、中堅総合診療医、家庭医に求められるリーダーシップ能力
日時	2016年6月11日(土) 17:00～18:30
会場	第12会場 (台東区民会館 9階 ホール(1))
企画責任者	山下大輔 (オレゴン健康科学大学家庭医療学科)
定員	72名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>総合診療医(家庭医、地域医療医)は、キャリアの早い段階で、診療所長、老人保健施設長、病棟医長など責任のある立場に就くことが多いです。その中で、リーダーシップが求められることも多いと察します。自分はまだまだその器量ではないとか、まだまだ自信ががないなという本音もありながら、上司の推薦や、派遣先の事情で責任のある立場につくことは珍しくありません。また自ら進んでそのような立場についても、リーダーシップについてあらかじめ学ぶ機会は少ないかと思われまます。責任者として同僚、もしくは職員の評価もしくは、フィードバックを求められることも多いのではないのでしょうか。その際には、年上の職員の上に立つなど難しいこともあります。また小さな組織の中で、相談する相手が少ないこともあるかもしれません。『自分で大丈夫なのか?』『この立場になったのは運が良かっただけ』『自分は本物ではないかもしれない』という不安に駆られることありませんか?リーダーシップを考える時に、自己評価と理想とのギャップに悩んでいませんか?もしかしたら、自分には合っていないリーダーシップの形を追い求めているのかもしれません。このワークショップでは陥りやすい陰性の思考や、それぞれにあったリーダーシップの形を一緒に学びたいと思っています。ファシリテーターとしてプライマリケアの様々な場(外来、往診、病棟)で活躍する先生方が協力しています。</p> <p>【概要】</p> <p>ワークショップのキーワード:総合診療医(家庭医、地域医療医)、リーダーシップ、インポスター症候群、ポジティブ心理学、ストレングスベーストアプローチ</p> <p>対象者:大学卒業後5から15年前後の医師。(目安ですのでこれ以上、以下でも構いません。また同じように責任のある立場についている他職種の方も歓迎します)特に女性の方の参加を歓迎します。</p> <p>形式:レクチャー、パネルディスカッション、グループワークを行います。</p>	